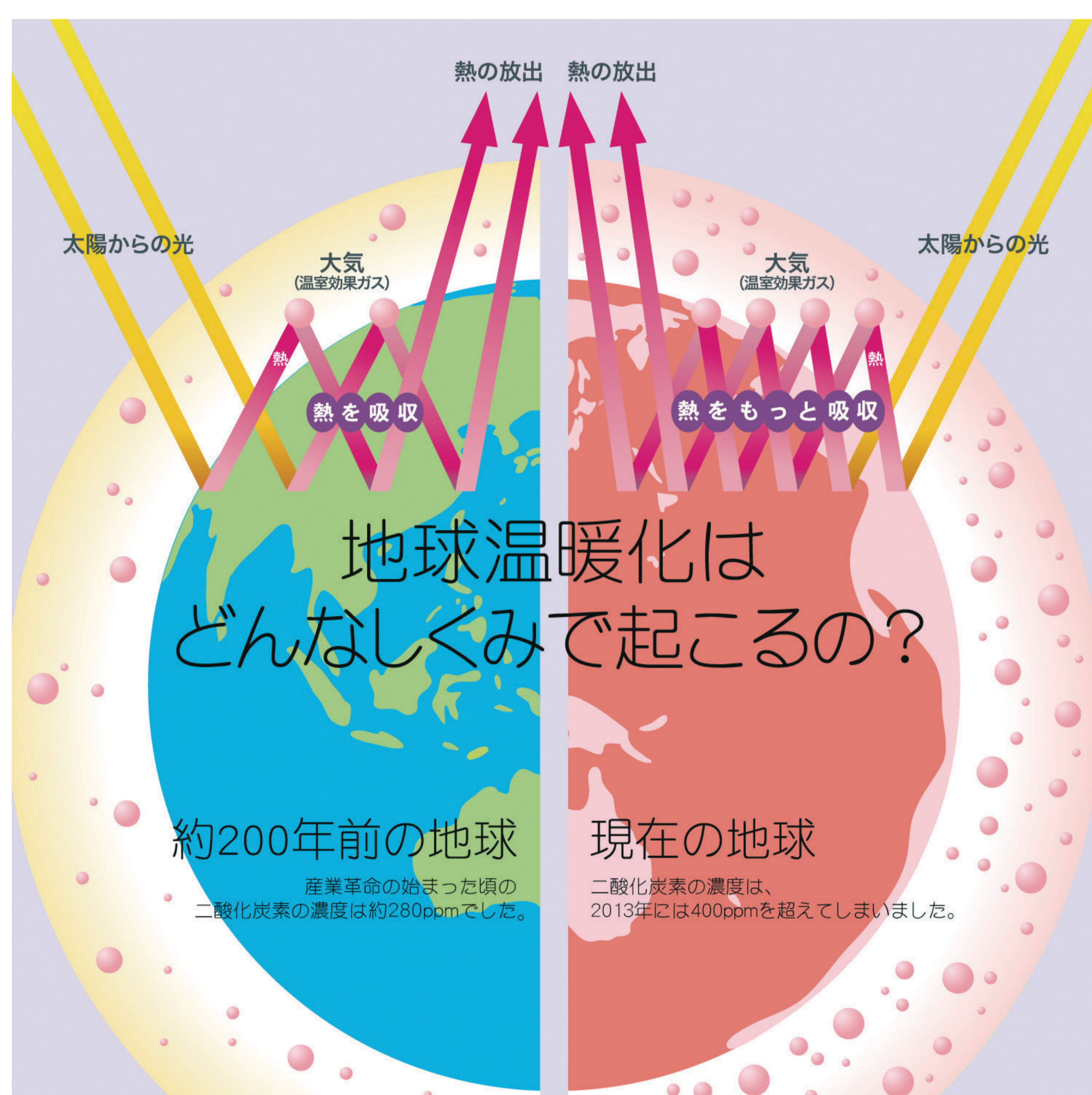


脱炭素化

地球温暖化とは

地球温暖化とは、CO₂（二酸化炭素）などの熱を吸収する性質を持つ温室効果ガスが人類の生活や経済活動などにより増加する一方で、森林が減ってCO₂の吸収量が減少することにより、CO₂の濃度が高まり、地球の気温が上昇する現象です。今後、地球温暖化が進行すると、気候変動により、生態系の変化、食糧問題、異常気象の増加など自然及び人間社会に深刻な影響を生じる可能性が高まるとされています。

世界の国々は「パリ協定」という取り決めの中で、「地球温暖化を抑制するために産業革命前からの気温上昇を2℃より十分に低く抑え、さらに1.5℃以内に向けて努力する」という世界共通の長期目標を掲げました。気温上昇を1.5℃に抑えるためには世界のCO₂排出量を2050年前後には実質ゼロに抑える必要があるとされ、地球温暖化対策は世界全体で今すぐ取り組むべき課題となっています。



地球温暖化のメカニズム
出典：全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<https://www.jccca.org/>)

直面する気候危機

気象庁によれば、2020（令和2）年の世界の平均気温は観測史上最高となりました。日本の年平均気温も、変動を繰り返しながら上昇を続けています。

気候変動の影響により世界各地で海面上昇、洪水、大雪など様々な異常気象が発生しています。日本では、2019（令和元）年に上陸した令和元年東日本台風（台風第19号）により極めて甚大な被害が広範囲で発生し、川崎市でも建物の浸水などの被害が多数発生しました。このような気候変動による影響は、今後さらに大きくなることが予想されます。



マーシャル諸島の海岸浸食

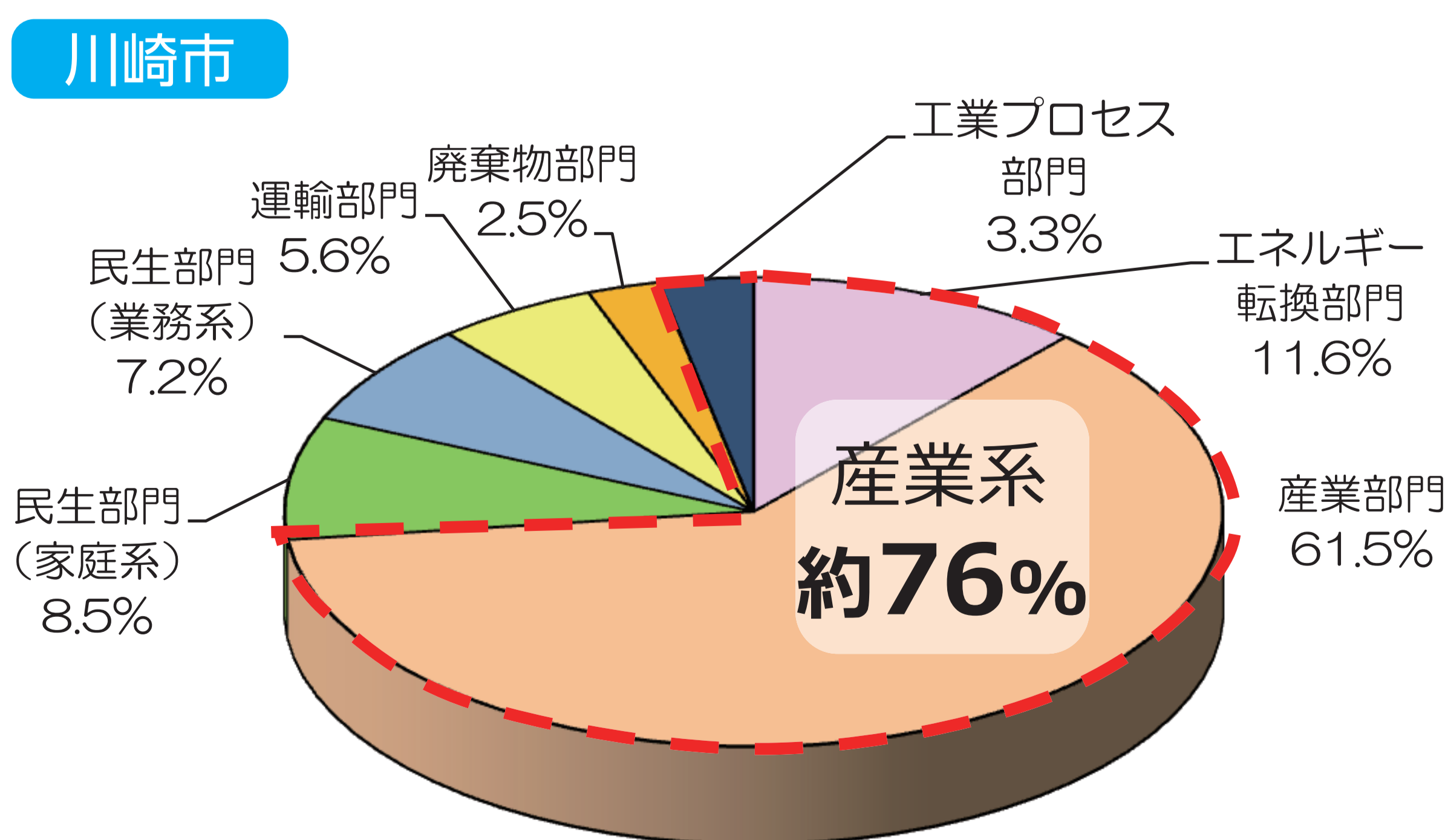


台風により増水した鴨川（京都府）

出典：全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<https://www.jccca.org/>)

川崎市の地球温暖化対策を取り巻く状況等

川崎市は京浜工業地帯の中核として日本経済をけん引していますが、政令指定都市で最も多くの温室効果ガスを排出している都市でもあります（2019（令和元）年度暫定値）。また、CO₂排出量のうち、産業系（産業、工業プロセス、エネルギー転換）が全国平均を大きく上回る約8割を占めています。世界中の社会・ビジネスが脱炭素化に移行する中、このような特徴を持つ川崎市が脱炭素社会の実現を目指すことはとても重要です。



市内の二酸化炭素排出量の部門別構成比（2019年度暫定値）
出典：川崎市地球温暖化対策推進基本計画

